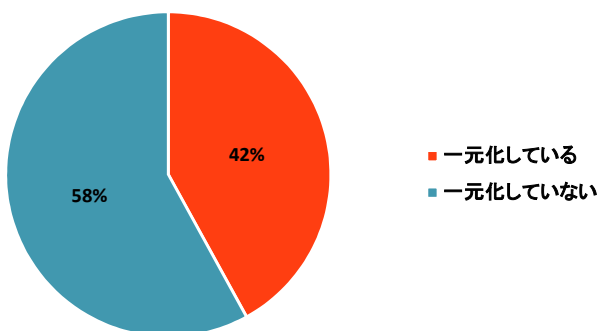


幼児教育を推進するための体制の構築

地方公共団体における幼児教育・保育の担当部局の一元化の状況

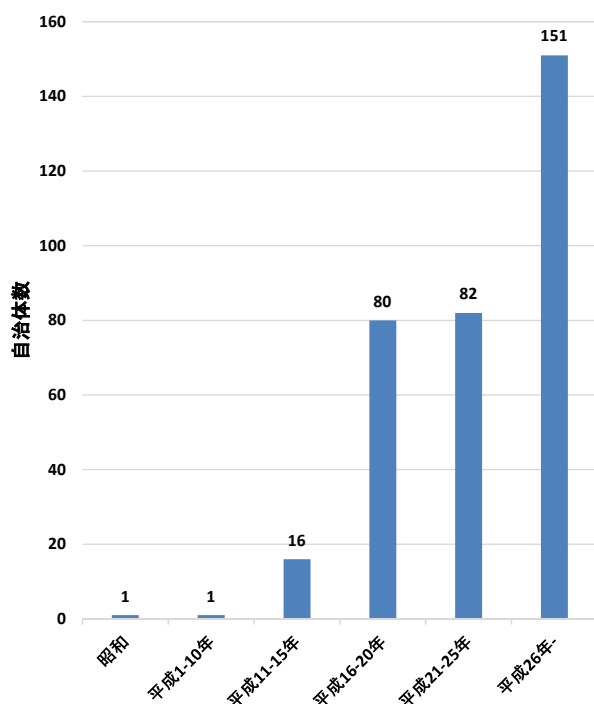
○ 地方公共団体の幼児教育・保育の担当部局の一元化は、近年増加傾向にあるものの、全体の約4割。

幼児教育・保育の担当部局の一元化

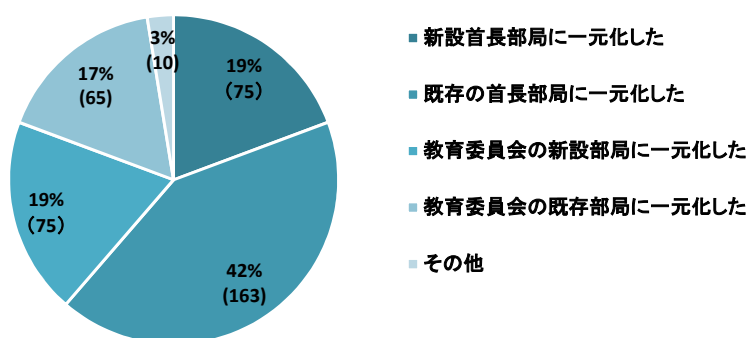


n=391

担当部局の一元化の時期



担当部局の一元化の方法



n=388

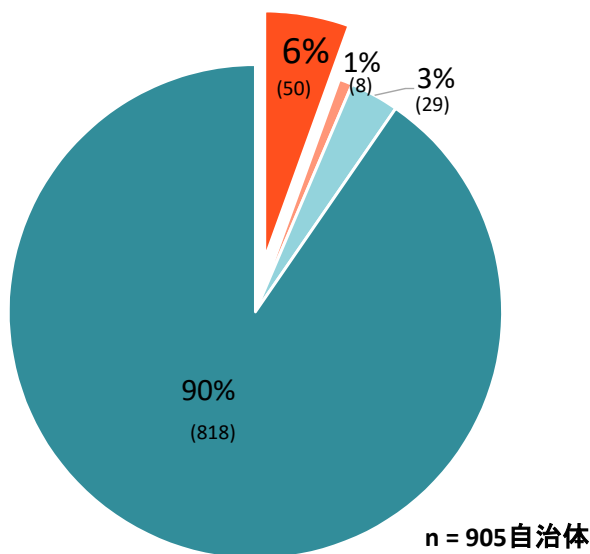
○ 全都道府県・市町村を対象に調査を実施。(平成30年7月時点)
 ○ 有効回答数：931自治体(回答率：52.2%)
 ○ 出典：平成30年度「幼児教育の推進体制構築事業」実施に係る調査分析事業成果報告書(東京大学大学院教育学研究科付属発達保育実践政策学センター)

地方公共団体における幼児教育センターの状況

○ 幼児教育センターを設置している地方公共団体は、全体の約6%。うち、約67%が教育委員会に設置。

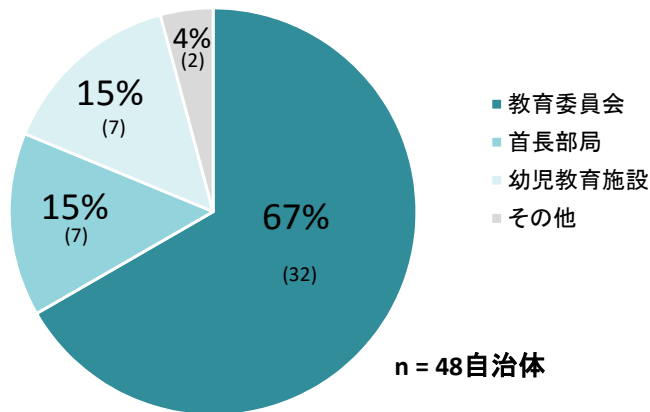
※「幼児教育センター」とは、都道府県等が広域に、幼児教育の内容・指導方法等に関する調査研究、幼稚園教諭・保育士・保育教諭や幼児教育アドバイザーに対する研修機会の提供や相談業務、市区町村や幼児教育施設に対する助言・情報提供等を行う地域の拠点のこと。

幼児教育センターの設置状況



- 設置している
- センターの設立は決まっており、その準備を進めている
- センターの設立を検討中である
- センターの設置は予定していない

幼児教育センターの設置場所



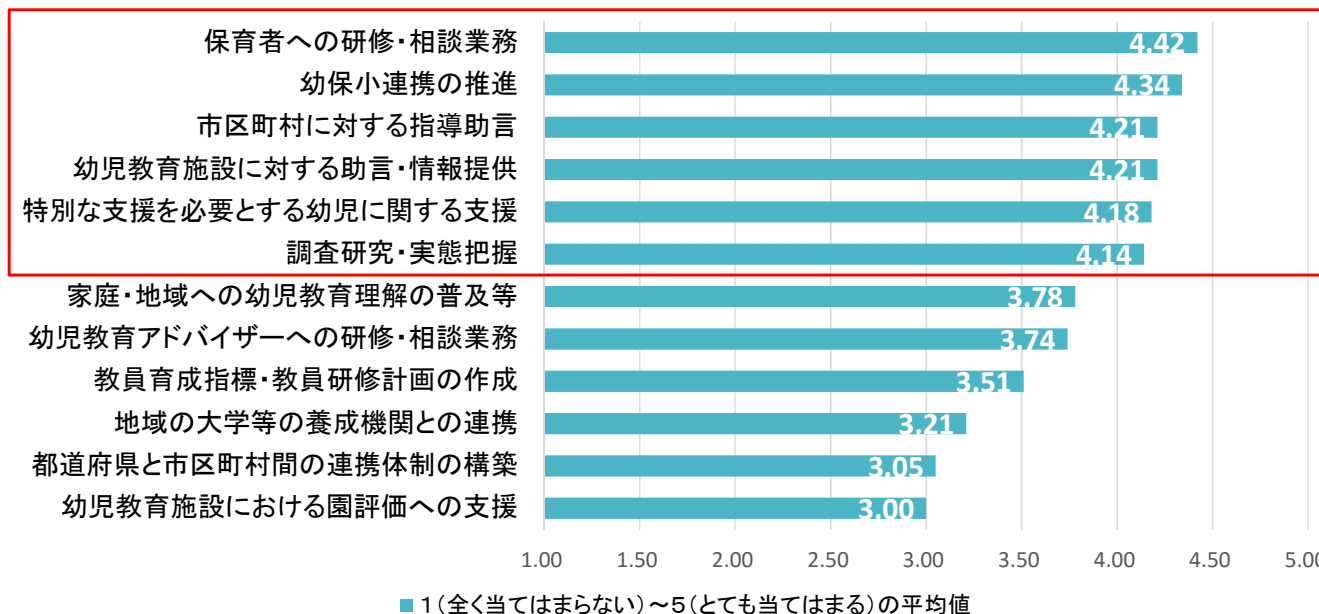
※ 未回答の自治体があるため、センターを設置する自治体数はグラフ間で一致しない。

○ 全都道府県・市町村を対象に調査を実施。（平成30年7月時点）
 ○ 有効回答数：931自治体（回答率：52%）
 ○ 出典：平成30年度「幼児教育の推進体制構築事業の成果に係る調査分析」成果報告書（東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター）

幼児教育センター設置の成果

幼児教育センターは、保育者への研修・相談業務、幼保小連携の推進、市区町村や幼児教育施設に対する指導助言、特別な支援を必要とする幼児に関する支援などに機能している。

幼児教育センターを設置した成果についての自治体担当者の認識

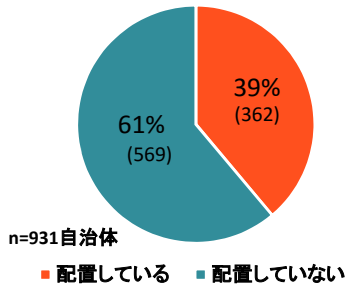


○ 全都道府県・市町村を対象に調査を実施。（平成30年7月時点）
 ○ 有効回答数：931自治体（回答率：52%）
 ○ 出典：平成30年度「幼児教育の推進体制構築事業の成果に係る調査分析」成果報告書（東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター）

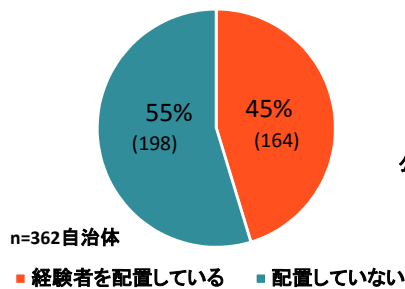
地方公共団体における幼児教育担当の指導主事、幼児教育アドバイザーの状況

- 幼児教育担当指導主事を配置している地方公共団体の割合は、全体の約39%。
- うち、幼稚園教諭、保育士、保育教諭（園長を含む。）の経験者を配置している地方公共団体は、約45%。

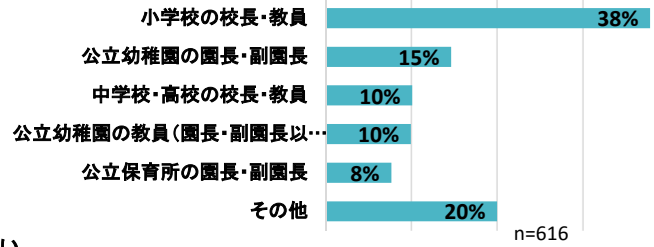
幼児教育担当指導主事の配置状況



幼児教育担当指導主事を配置する自治体のうち、幼稚園教諭、保育士、保育教諭の経験者を配置する自治体数



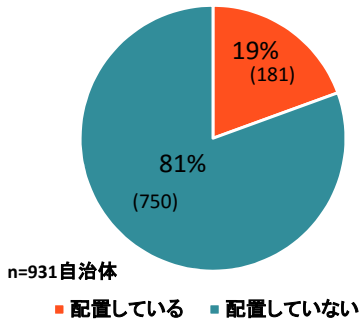
幼児教育担当主事の経歴(上位5つ)



幼児教育アドバイザーを配置している地方公共団体の割合は、全体の約19%。

※「幼児教育アドバイザー」とは、幼児教育の専門的な知見や豊富な実践経験を有し、域内の幼児教育施設等を巡回、教育内容や指導方法、環境の改善等について指導を行う者のこと。

幼児教育アドバイザーの配置状況

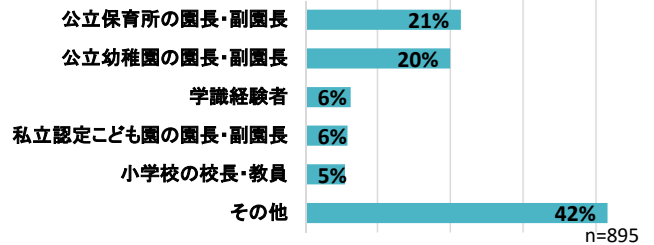


常勤/非常勤別の配置状況

	常勤	非常勤
配置割合	10%	11%
自治体数	95	106

n=931自治体

幼児教育アドバイザーの経歴(上位5つ)



○全都道府県・市町村を対象に調査を実施。(平成30年7月時点)

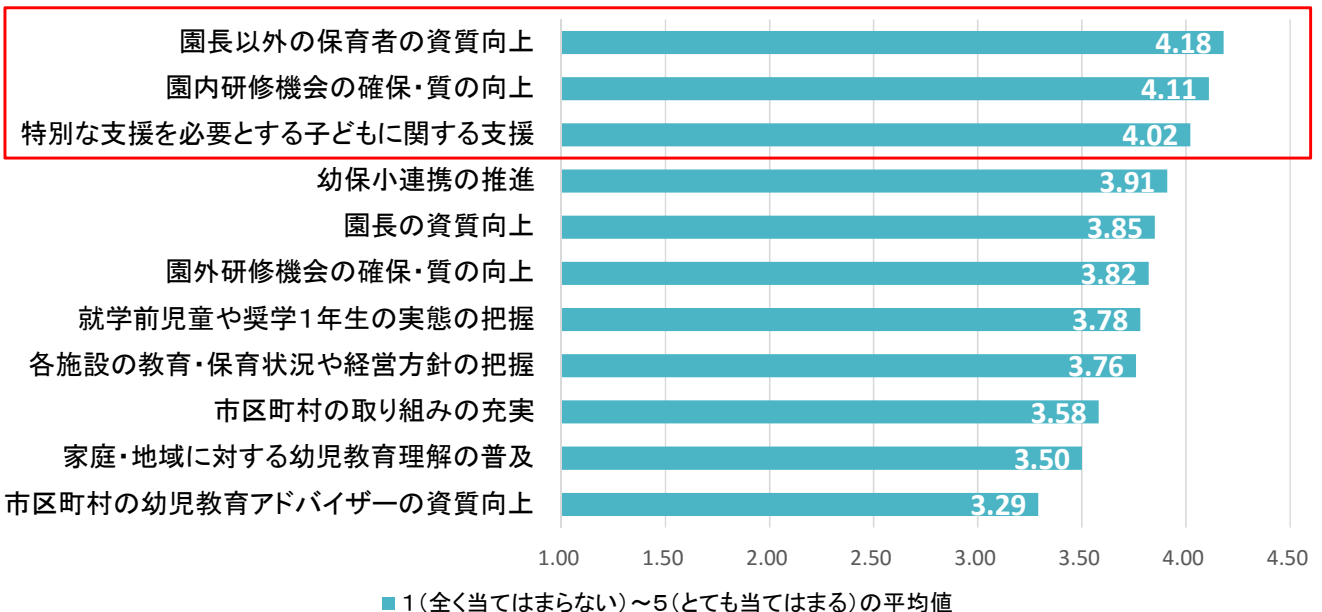
○有効回答数: 931自治体(回答率: 52%)

○出典: 平成30年度「幼児教育の推進体制構築事業の成果に係る調査分析」成果報告書(東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター)

幼児教育アドバイザー配置の成果

幼児教育アドバイザーは、保育者の資質向上、園内研修機会の確保・質の向上、特別な支援を必要とする子どもに関する支援などに機能している。

幼児教育アドバイザーを設置した成果についての自治体担当者の認識



○全都道府県・市町村を対象に調査を実施。(平成30年7月時点)

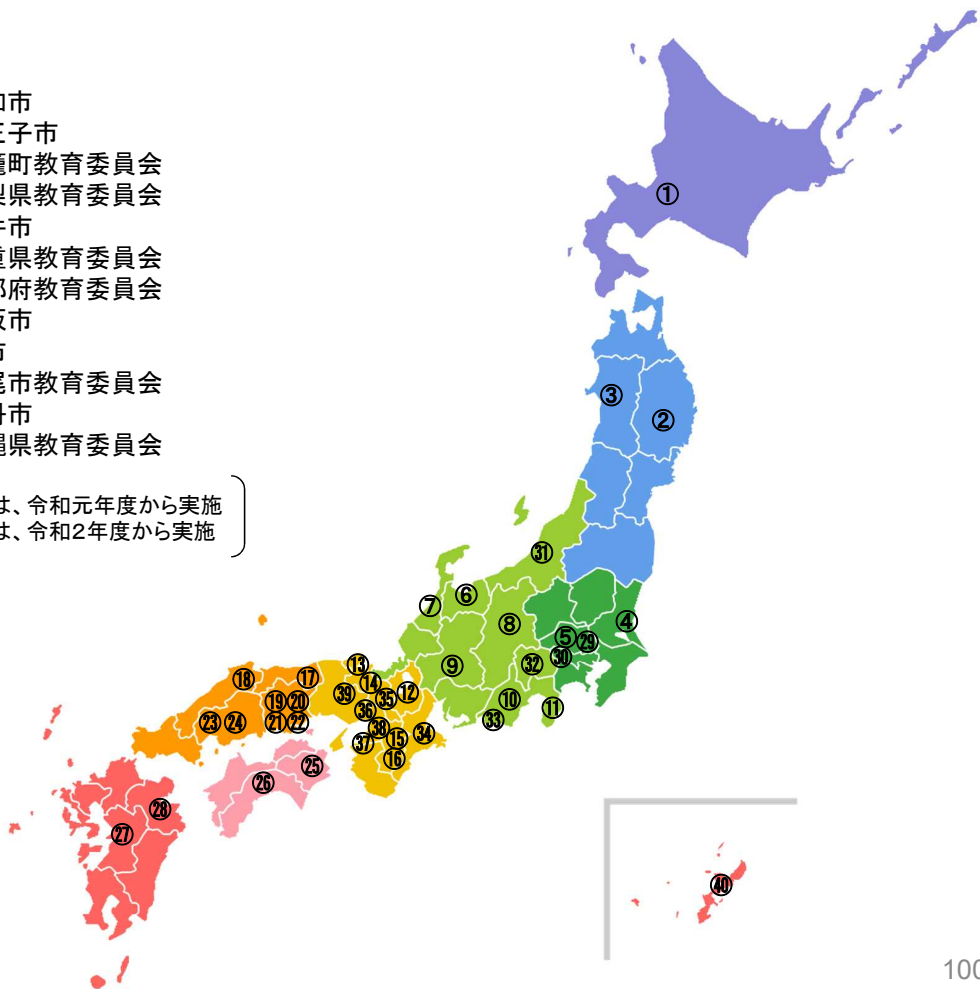
○有効回答数: 931自治体(回答率: 52%)

○出典: 平成30年度「幼児教育の推進体制構築事業の成果に係る調査分析」成果報告書(東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター)

○令和2年度採択団体

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 北海道教育委員会 | 29. 草加市 |
| 2. 気仙沼市教育委員会 | 30. 八王子市 |
| 3. 秋田県 | 31. 聖籠町教育委員会 |
| 4. 鹿嶋市 | 32. 山梨県教育委員会 |
| 5. さいたま市 | 33. 袋井市 |
| 6. 富山県教育委員会 | 34. 三重県教育委員会 |
| 7. 金沢市 | 35. 京都府教育委員会 |
| 8. 長野県教育委員会 | 36. 大阪市 |
| 9. 岐阜市教育委員会 | 37. 堺市 |
| 10. 静岡県教育委員会 | 38. 八尾市教育委員会 |
| 11. 函南町 | 39. 伊丹市 |
| 12. 東近江市 | 40. 沖縄県教育委員会 |
| 13. 舞鶴市 | |
| 14. 京丹波町 | |
| 15. 奈良県教育委員会 | |
| 16. 奈良市 | |
| 17. 鳥取県教育委員会 | |
| 18. 島根県教育委員会 | |
| 19. 岡山県 | |
| 20. 玉野市教育委員会 | |
| 21. 高梁市 | |
| 22. 美作市 | |
| 23. 広島県教育委員会 | |
| 24. 広島市教育委員会 | |
| 25. 徳島県 | |
| 26. 高知県教育委員会 | |
| 27. 熊本県教育委員会 | |
| 28. 大分県 | |

1～28は、令和元年度から実施
29～40は、令和2年度から実施



100

子ども・子育て支援法に基づく基本指針の改正について

- 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の整備並びに子ども・子育て支援給付並びに地域子ども・子育て支援事業及び仕事・子育て両立支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針の一部を変更する内閣府告示
 <施行日：令和2年4月1日（内閣府告示第86号）>

第二 教育・保育を提供する体制の確保、子育てのための施設等利用給付の円滑な実施の確保並びに地域子ども・子育て支援事業及び仕事・子育て両立支援事業の実施に関する基本的事項

一 教育・保育を提供する体制の確保、子育てのための施設等利用給付の円滑な実施の確保並びに地域子ども・子育て支援事業及び仕事・子育て両立支援事業の実施に関する基本的考え方

また、子ども・子育て支援制度は質の高い教育・保育その他の子ども・子育て支援の提供を通じて全ての子どもが健やかに成長するように支援するものであり、市町村、都道府県及び国は、それぞれの役割に応じて、教育・保育その他の子ども・子育て支援の質の確保及び向上を図ることが必要である。具体的には、認定こども園、幼稚園及び保育所と小学校等との連携・接続のための取組の促進、幼稚園教諭、保育士等に対する研修の充実等による資質の向上、**幼児教育・保育に関する専門的知識・技能に基づき助言その他の支援を行う者の配置、教育・保育に関する施策を総合的に実施するための拠点の整備、処遇改善を始めとする労働環境への配慮並びに教育・保育施設及び地域型保育事業（省略）を行う者並びに子ども・子育て支援施設等（省略）に対する適切な指導監督、評価等の実施を通じて、質の高い教育・保育その他の子ども・子育て支援の提供を図り、市町村及び都道府県は、これらの事項について、子ども・子育て支援事業計画に具体的に記載する。**

二 子ども・子育て支援に当たっての関係者の連携及び協働

1 市町村内及び都道府県内の関係部局間の連携及び協働

市町村及び都道府県は、質の高い教育・保育その他の子ども・子育て支援の提供を目指す子ども・子育て支援制度の総合的かつ効率的な推進を図るため、例えば、**認定こども園、幼稚園、保育所等及び地域子ども・子育て支援事業の担当部局を一元化する、幼児教育センターとしての機能を担う体制を整備する、関係部局の併任職員を配置する**など、円滑な事務の実施が可能な体制を整備し、子ども・子育て支援事業計画の作成並びにこれに基づく質の高い教育・保育その他の子ども・子育て支援の実施を図ることが望ましい。（略）

新型コロナウイルス感染症拡大の状況における幼稚園等の具体的な取組

新型コロナウイルス感染症対策のための幼稚園における臨時休業の実施状況について

○ 令和2年4月16日の緊急事態宣言等を受けて、令和2年4月22日現在、約3/4の幼稚園が臨時休業を実施、約1/4が開園している。

【表】4月22日現在臨時休業を実施している学校の割合（全国）

	公立	国立	私立	合計
幼稚園	73%	94%	74%	74%
小学校	95%	99%	98%	95%
中学校	95%	99%	99%	95%
義務教育学校	95%	100%	100%	95%
高等学校	97%	100%	98%	97%
中等教育学校	100%	100%	100%	100%
特別支援学校	96%	98%	79%	96%
専修学校高等課程	100%	100%	93%	93%
計	93%	98%	82%	91%

(※) 表中の割合は、回答があった学校数全体のうち、「22日現在、臨時休業を実施している」と回答のあった学校数の割合を示す。

【公立学校】（単位：学校数）

	回答	臨時休業を実施中	臨時休業を決定	臨時休業を検討中	臨時休業の実施無し
幼稚園	3,112	2,265	90	78	679
小学校	18,964	17,933	669	282	80
中学校	9,196	8,705	303	142	46
義務教育学校	130	123	6	1	0
高等学校	3,534	3,412	24	97	1
中等教育学校	37	37	0	0	0
特別支援学校	1,086	1,039	20	25	2
専修学校高等課程	5	5	0	0	0
計	36,064	33,519	1,112	625	808

【国立学校】（単位：学校数）

	回答	臨時休業を実施中	臨時休業を決定	臨時休業を検討中	臨時休業の実施無し
幼稚園	49	46	0	0	3
小学校	68	67	0	0	1
中学校	69	68	0	0	1
義務教育学校	4	4	0	0	0
高等学校	15	15	0	0	0
中等教育学校	4	4	0	0	0
特別支援学校	45	44	0	0	1
専修学校高等課程	1	1	0	0	0
計	255	249	0	0	6

【私立学校】（単位：学校数）

	回答	臨時休業を実施中	臨時休業を決定	臨時休業を検討中	臨時休業の実施無し
幼稚園	5,388	3,981	24	101	1,282
小学校	240	235	1	0	4
中学校	738	728	3	0	7
義務教育学校	1	1	0	0	0
高等学校	1,418	1,386	9	0	23
中等教育学校	18	18	0	0	0
特別支援学校	14	11	1	0	2
専修学校高等課程	343	320	3	2	18
計	8,160	6,680	41	103	1,336

新型コロナウイルス感染症対策のための幼稚園における臨時休業の実施状況について

○ 令和2年5月4日の緊急事態宣言の延長等を受けて、令和2年5月11日現在、引き続き、**約3/4の幼稚園が臨時休業を実施、約1/4が開園**している。

【表】 5月11日現在臨時休業を実施している学校の割合（全国）

	公立	国立	私立	合計
幼稚園	77%	84%	69%	73%
小学校	88%	90%	90%	88%
中学校	88%	90%	92%	88%
義務教育学校	87%	100%	100%	88%
高等学校	90%	93%	88%	89%
中等教育学校	100%	100%	88%	96%
特別支援学校	90%	82%	60%	89%
専修学校高等課程	80%	0%	82%	82%
計	87%	87%	76%	86%

(※) 表中の割合は、回答があった学校数全体のうち、「11日現在、臨時休業を実施している」と回答のあった学校数の割合を示す。

(※) 私立については、東京都、福岡県が未回答となっている。

104

新型コロナウイルスに関連した地方自治体への通知等

○新型コロナウイルス感染症に対応した臨時休業の実施に関するガイドライン(4月17日改訂版)(抄)

8. 幼稚園を臨時休業する場合の預かり保育等の提供に関すること

「1(1)児童生徒等又は教職員の感染が判明した学校の臨時休業の考え方について」及び「1(2)感染者がいない学校も含めた、地域一斉の臨時休業等の考え方について」に基づき幼稚園の臨時休業を行う場合には、幼稚園は一人が家にいることができない年齢の幼児が利用していることを踏まえ、感染拡大防止のための万全の対策を講じた上での預かり保育の提供を縮小して実施すること等を通じて、必要な者に保育が提供されないということがないよう、居場所の確保に向けた取組を検討いただきたいこと。

特に、子ども・子育て支援新制度や幼児教育・保育の無償化において保育の必要性の認定を受けている幼児であって、保護者が医療従事者や社会の機能を維持するために就業を継続することが必要な者である場合や、ひとり親家庭などで仕事を休むことが困難な者の子どもの保育が必要な場合などについては積極的な対応を検討いただきたいこと。

また、これらの居場所確保の取組に当たって昼食を提供することも工夫の一つと考えられるため、地域の実情やニーズに応じて対応を判断いただきたいこと。

○新型コロナウイルス感染症対策のために幼稚園において臨時休業を行う場合の留意事項及び幼児や職員が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合の関係者への情報提供について(4月23日付事務連絡)(抄)

1. 新型コロナウイルス感染症対策のために幼稚園において臨時休業を行う場合の留意事項について

(1) 家庭及び地域における教育の支援等

幼稚園における臨時休業を行う際の考え方については、緊急事態宣言の対象区域が全国になっている現在、「新型コロナウイルス感染症に対応した臨時休業の実施に関するガイドライン(令和2年4月17日改訂版)」の1.(3)以降に示したとおりとなりますが、このたびは発出された「新型コロナウイルス感染症対策のために小学校、中学校、高等学校等において臨時休業を行う場合の学習の保障等について」(令和元年4月21日初等中等教育局長通知)において、児童生徒の心身の状況の把握と心のケアや、臨時休業を行う場合の教職員の勤務等、幼稚園にとって参考になる事柄がより具体的に示されています。については、同通知も参考にいただき、自宅で過ごす幼児及びその保護者との連携を密にし、幼児本人とも直接電話等で対話すること等により、幼児の健康状態の把握や心のケア等、家庭における幼児の心身の健全な発達に向けた必要な支援を行うこと、また、在宅勤務や時差出勤を適切に実施すること等、各幼稚園において、家庭及び地域における教育の支援等に努めていただくよう、お願いいたします。

(2) 要保護児童対策協議会に登録されている支援対象幼児に関する状況把握等

特に、要保護児童対策地域協議会に登録されている支援対象の幼児に関しては、臨時休業に伴い在宅時間が増加することに伴う児童虐待のリスク等も踏まえ、各園において、電話等で定期的に幼児の状況を把握するようお願いいたします(概ね1週間に1回以上)。加えて、自治体等を通じて児童相談所等の関係機関と緊密に連携し、幼児に対する必要な支援を行っていただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症への対応のための幼稚園等の取組事例集

幼稚園や認定こども園が臨時休業等を行った場合に実施した幼児・保護者等に対する様々な支援の取組をまとめました。各園の課題やリソースに即した様々な取組事例があり、また学校再開後の幼稚園運営に役立つ事例もたくさんありますので、臨時休業中の園だけでなく教育活動を継続・再開している園においても、是非御活用ください。

令和2年5月13日 時点

文部科学省
初等中等教育課
幼児教育課

遊びの「贈り物」を郵送

子ども達が家庭でも年齢に応じて親子で楽しみながら取り組めるよう、様々な遊びの素材を詰め込んだ「贈り物」を各家庭に郵送する。子ども達には「幼稚園から自分宛の贈り物が届いた」喜びを味わいながら、家庭での楽しいひとときを過ごしてもらおう。



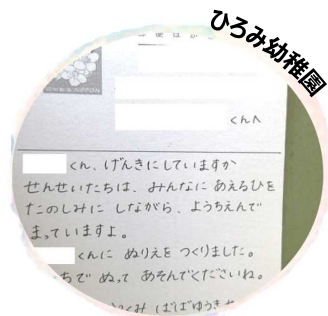
富士中央幼稚園
「よもぎつくるう」
『ハタクソペンギン』

「贈り物」の製作過程を易しい言葉で解説したフォロー動画もHPで配信しています。後で表紙を描き足して完成する絵本を贈るなど、幼稚園再開後の教育活動につながる工夫もしています。



大阪教育大学附属幼稚園
「めとぼう」

親子と一緒に遊んだり遊びのヒントとなるプリントと、月間絵本・折り紙・画用紙等の教材を同封しています。



ひろみ幼稚園

贈り物の宛名は各園児の名前にして、温かい手紙と共に送っています。



小倉幼稚園

園で日頃行っている活動を家庭でも親子でできるように、クラスで踊っていた曲のCDも同封しています。



静岡豊田幼稚園

「双六」、「三並べ」、「絵合わせゲーム」など、子供達が完成させた後に家族で遊ぶことができるようなものを送っています。

※上記事例の他にも、例えばこんなものを送ったという事例が届いています！
あやとり・折り紙・紙風船・落書き帳・塗り絵・こいのぼり作り・絵本・母の日プレゼント作り・間違い探し・迷路・運動遊びの紹介・ひっくりかエール・とんとん相撲・宙返り段ボール・ストローロケット・お面作り・切り紙セット・チョウチョの貼り紙遊び・ビンゴ・絵描き歌・自作DVD



保育動画の配信

普段の保育内容や、家庭でできる遊びの内容を動画にまとめ、保護者に対して配信する。
(Youtube等の動画配信サービスの限定公開を活用したり、園のHPに掲載するなどして保護者に周知)



親子で一緒にできるごっこ遊びや、じゃんけん遊び・身近な材料を使った製作・クイズなどを記事・動画で紹介しています。

70本以上の動画を配信し、学年、動画ジャンルを明記した配信リストを作成し検索しやすいように工夫しています。

ジャンル例：
遊び（手遊び、読み聞かせ、製作、鬼ごっこ等）、生活（幼稚園探検、食事、着替等）、音楽（季節の歌等）、運動・表現（ダンス等）

※上記事例以外にも、例えばこんな動画を配信したという事例が届いています！
紙飛行機・こいのぼりなど家庭にある材料で作れる製作物の作り方動画、担任の紹介動画、園内の自然や生き物の様子を伝える動画、鍵盤ハーモニカの練習用動画、手品、先生の学年対抗チャレンジ動画（大縄など）、ふしぎ実験動画、エプロンシアター、ジェスチャーゲーム、先生あてゲーム

朝の会・日課や絵本の読み聞かせ等を動画にまとめて配信しています。動画はiPhoneのみで編集。

歌や遊び・ゲーム、ダンスや手遊びなど、家族と一緒に楽しく活動することを促す動画を配信しています。

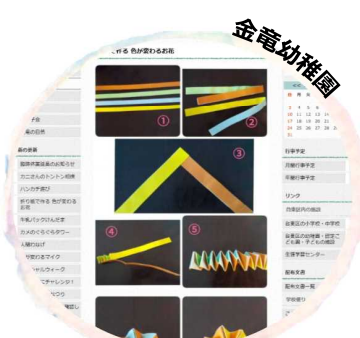


園でいつも踊っている体操を配信しています。限定公開にも関わらず再生回数が1500回を超えています。

影絵遊び、歌、お遊戯、体操、人形劇、科学遊び等を配信しています。日本科学協会、国立科学博物館、日本レクリエーション協会等の各種団体のコンテンツ等も併せて紹介。写真（右）は動画撮影の様子。

園ホームページを使った情報発信

園のホームページに家庭で取り組める多種多様な遊び等のアイデアや園の生き物の様子などを掲載し、家庭での遊びの充実や、幼稚園と家庭生活のつながりの維持を図る。



家庭で過ごすための遊びのヒント等を毎日ホームページで発信しています。

自宅でも親子で楽しむことができる簡単な制作遊びや料理などをホームページで発信しています。

担任と子供たちがクラスのつながりを感じることができるよう、Zoomで「クラスのあつまり」を実施し、歌を歌ったり、名前を呼んだり、オンラインでできる簡単なコミュニケーションを実施しています。

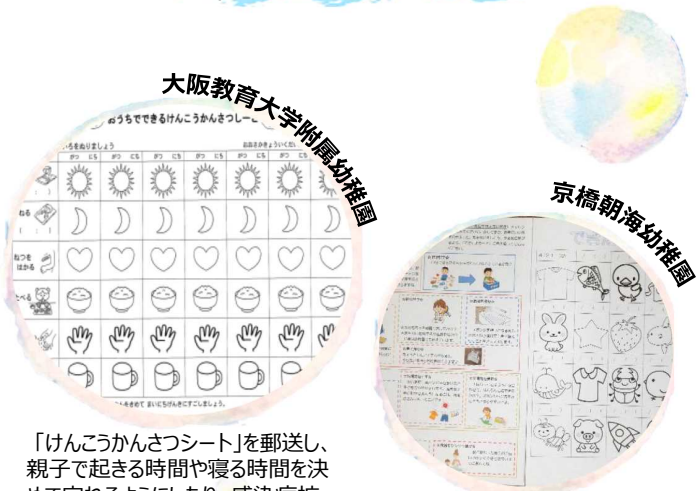
Google for Educationを利用しており、GoogleのMeetを用いたオンライン保育を実施し、お遊戯や簡単な製作などに同時双方向で取り組んでいます。

絵本の貸し出し

園が保有する絵本を貸し出し、家庭での読み聞かせや読書に役立ててもらおう。

生活習慣・健康管理のチェックシート配布

ほけん便りの配布・メール送付を通じた情報発信や、生活習慣を整えたり健康管理をするためのおやくそく表、チェックシート等といったワークシートを家庭に送付し、早寝早起き、食事、排せつ、片付け、歯磨き、お手伝いなど規則正しい生活や、感染症予防対策をサポート。



「けんこうかんさつシート」を郵送し、親子で起きる時間や寝る時間を決めて守れるようにしたり、感染症拡大予防のためにできることを習慣付くようにしている

生活基本的生活習慣の確立に向けて家庭で取り組んでほしい内容を、「できたよカード」（幼児も色塗りをしながら達成感が味わえるカード）とともにホームページに掲載。

動画で生活習慣・感染症予防の情報発信

生活習慣や感染症予防に関する動画を作成して、youtube等で配信する。



早寝、早起きや食事、排泄、手洗いなど家庭において健康で規則正しい生活を送ろうとする意欲や態度を促す動画を職員が作成してHPから配信しています。

正しい手洗い、咳エチケットの紹介や手洗い、うがいクイズの動画を作成して配信しています。

決まった時間にオンラインでクラス会を実施

ビデオ通話ソフトやLive動画の配信サービスを利用して、決まった時間にオンラインでクラス会を実施すること等により生活リズムを整える。

110

遊びの贈り物や配信動画に園再開後の生活にわくわくするような工夫を盛り込む

家庭に送付した遊びの素材や、配信した動画に園での生活を思い出したり、楽しみに思うような工夫をする。



ホームページに掲載している遊びの素材に幼稚園がはじまるまでのすくろく「ごすなすくろく」を載せ、教師の名前や園歌等を思い出せるような工夫をしています。

先生が家庭にもある素材で自由に工作する様子を動画に掲載しています。幼児の空間を創る力の育成を促しながら、本園ならではの製作活動を楽しみにする工夫です。

ホームページ、SNS等で園の生き物や遊びの準備状況等を知らせる

幼児の飼っている動植物の様子や遊びの準備状況をHP等で知らせたり、特に入園したばかりの年少児あてに園内の自然や遊具の紹介をしたりすることで、また幼稚園で遊びたいという気持ちを高める。



育てているうさぎや野菜の様子をブログで発信しています。幼稚園再開後に向けて現在の様子を伝え、期待をもって登園できるようにしたいと考えています。

どんな風にして遊ぶか、想像しながら楽しみにして欲しいと思い、職員の幼稚園での環境設定や教材準備の様子を「幼稚園だより」に書いてHPにアップしています。

担任による電話や家庭訪問で幼児と話す

定期的に電話や家庭訪問（軒先など）を通じて保護者・幼児と担任が直接話をする事で、健康状態等の把握だけでなく園とのつながりを保ち、スムーズに園に戻れるようにしている。



HPに園のマスコット『かめたろう』が園内を探検する様子を毎日更新し、園生活に期待をもてるような工夫をしています。

給食の提供や、発注済み食材の地域への販売を行う

感染予防の配慮を実施しつつ、預かり保育の利用者等に給食を提供したり、発注済みの給食食材を地域の保護者や他施設に販売等を行う。

新屋幼稚園

預かり保育の幼児に、町の学校給食センターから昼食の提供をしています。配膳時の感染防止のため、食器を使わない弁当形式にしているほか、昼食場所は遊戯室を使い、準備するときから換気・消毒等を行っています。机は間隔をあけて並べ、机1つに子ども1人が座るようにしています。

犬山幼稚園

給食の発注取り消しができなかった米は、開所している保育園での給食に生かしてもらい、雑あられは、各家庭に配布しました。また、園庭の一角にある畑で年長児が栽培していた野菜を収穫して、教材配布時に一緒に各家庭に配布しました。

密にならないよう配慮しつつ園庭を開放し、幼児がのびのびと遊べる環境を整える

公園も人が多く年齢の大きい児童が活発に活動するため幼児が体を動かす居場所がないといった声を踏まえ、感染拡大防止に配慮しつつ園庭を開放し、幼児がのびのびと遊べる環境を整える。

平日の午前中に園庭開放を実施しています。園児が全部で20名以下と少数のため、人数制限はしていません。

※感染予防の配慮の事例

- ・入れ替え制にして利用人数を制限する。(1クラス毎、1時間で交替など)
- ・園庭開放前に検温し、発熱や咳の症状がある場合には利用できないようにする。
- ・園で遊ぶ時には親子共にマスクを着用。
- ・利用する日時と名前を記入し、手のアルコール消毒してから遊ぶ。
- ・遊具使用前後に使用する消毒液の設置
- ・遊んだ後も手洗い、うがい(コップ持参)、アルコール消毒してから帰宅。
- ・複数の子供が使う固定遊具だけでなく、親子で追いかけて遊ぶなど、おすすめの遊び方も伝える。

小中学校とも共同で、市内各調理室や給食センターにすでに納品された野菜などを袋詰めし、ドライブスルー方式で市民に販売しました。渋滞を誘発して近所に御迷惑をおかけしたので、気をつけてください。

ひまわり幼稚園



給食は中止していますが、向かい合わせにならないようにしつつ外やテラスで間隔をあけて食べるなどすることで、楽しみながら感染防止を行っています。

せんりひじり幼稚園



多くの遊びたくなる場(拠点)のある環境構成を心がけて園庭の開放を実施しています。

定期的な電話・家庭訪問・アンケート等を通じた状況把握・支援

定期的な電話等を通じて保護者や幼児の家庭での状況を把握し、必要な保護者に対する支援を行う。特に特別な支援を要する子供や虐待リスクのある子供などは関係機関に情報を共有するなど、丁寧な見守りを行う。

桜木幼稚園

週に一度、担任から電話で保護者の話を伺い、幼児のことだけでなく、家族の体調や子育てに対する不安等も聞いています。事前に全クラス統一した記録表を作成し、そこに記入してファイルに綴っておくことで、担任が不在時に問い合わせや相談があったときにも対応できるようにしています。

武蔵野東第一・第二幼稚園

保護者連絡ツールを使用して、家庭での様子・困っていること・体調などの確認をするアンケートを実施しています。アンケートの回答に悩んでいる様子などがある方や返答のない方を優先的に、担任より家庭へ電話連絡をし、コミュニケーションを図るとともに、悩みの軽減に努めています。

千里第二幼稚園

特に気になる園児については、定期的に担任より電話連絡をして、園児と直接話をしています。また、関係機関と連携して学校、子ども家庭センターやサービスなど訪問された時の様子を共有して、見守りを進めています。

上高瀬幼稚園

週に1度電話をかけ、特に気になる家庭・園児・保護者の場合には、会話の中で様子を把握するように努め、市の子育て支援課とも定期的に共有しています。

週に一回、職員が各学年に応じた製作キットやお手紙を各家庭にポストに配布する際、呼び鈴を押すことでポスト配布したことを伝えつつ園児と保護者の様子を確認しています。在宅確認ができなかった場合、園からその保護者に電話をかけ、園児と保護者の様子を確認し、全職員で共有しています。

対面・ビデオ通話・SNS等で保護者のカウンセリングや相談の機会を設ける

対面・オンライン・電話など多様な媒体を通じて子育ての悩みやストレス等に関して丁寧に相談に応じる。

たきさん幼稚園



スクールカウンセラーと臨床心理士による対面相談日や、スクールカウンセラーによる電話相談日を設け、園のHPや配信メールで周知しています。

陣内幼稚園

Web会議サービス「Zoom」を活用し、保護者と担任もしくは園長がお互いに顔を見ながらコミュニケーションを取り、悩みや相談等を聞き、ストレス軽減につなげています。

七松幼稚園

希望する保護者に対して、GoogleMeetというアプリを用いて、園に非常勤で在宅勤務する臨床心理士によるオンラインカウンセリングを実施しています。また、市から紹介された子育て相談窓口についてもメールで周知しています。

武蔵野東第一・第二幼稚園

自閉症児クラスの保護者に対しては、担任とウェブ会議ツールを使ったオンライン懇談を実施しています。一人一人の保護者と30分間のオンライン懇談を行い、コミュニケーションを図るとともに、子どもの育ちや様子を共有したり、保護者の相談を聞いたりしています。

向南幼稚園

休業期間中でも、就労、子育ての困り感が強いなどやむを得ない事情の場合、教育時間相当部分については追加料金なしで保育しています。少人数にする、毎日検温してきてもらう、弁当は対面ではなく距離を取って食べる、ドアや窓を締め切らないなど感染拡大防止に配慮しています。

日高幼稚園

子育てが苦手だったり、ストレスを抱えてしまいがちの保護者には時々電話連絡して、心の病などを発症する前に預かり保育の申込を受けることを個別に伝えています。

立花愛の園幼稚園

毎週各クラス担任によるZoomを使つてのリモート保育し、その時間は親の気分転換を図れるように配慮しています。

自園の保育のあり方を見直したり、教師の保育力を高める取組

自園の教育理念・教育課程・指導計画等の再確認・改善を行ったり、計画的に教師の保育技術の研鑽を行ったり、職員チームビルディングを促進したりする。

せんりひじり幼稚園



園の理念（フィロソフィーブック）の slides を動画にして、在宅の研修課題として配信しています。レポート提出により園の大切にしていることの共有を図っています。

ふたば幼稚園



手作りおもちゃの作成を、おもちゃの対象児・ねらい・遊びの広がりも含めて考え作成し、研修の一環としています。

精華小学校附属嬰兒幼稚園

教育課程の見直し、体力プランの見直し、避難防犯経路の確認、園内研の取り組み方、アプローチカリキュラムの見直しと確認、幼稚園教育要領の読み合わせ等を実施しています。

山梨大学教育学部附属幼稚園

保育動画の作成に取り組むこと、通常の保育以上に、教材の扱いや見やすさ、伝え方について職員が知恵を出し合って工夫する姿が見られ、保育者の実践力の向上につながっています。また、他園と動画を情報共有していくことで職員の意欲向上や動画コンテンツの改善につながっています。

小倉幼稚園

自己研鑽のため、職員に園の教育図書のを貸し出しをしています。保育のことだけでなく広い視野で物事を考えられるように、普段なら忙しくてなかなか読むことのないジャンルの本なども揃える努力をしています。

富士中央幼稚園



教職員がPCで各自研修できるように環境を整え、保育の質の向上に全園で取り組んでいます。それぞれが把握している休園中の子どもたちの様子や、今できる幼児教育のアイデアや取り組みを、常に共有できるように配慮しています。

西須磨幼稚園

在宅勤務を主にしているので、googleハンガアウトを使って、勤務の開始時と終了時にミーティングを行い、進捗状況を確認することで、連帯感を確認しています。同じgoogleハンガアウトを利用して、年間のねらいの確認やカリキュラムの作成、各学年の発達についての勉強会などをオンラインで各チームで行っています。さらにgoogleスプレッドシート・ドキュメントを使って、今後できる取り組みを全職員から募集し（育休中の職員なども積極的に意見を出しています）ミーティング内容をすべての職員でオンラインで共有しています。

有馬幼稚園

例年、なかなか丁寧でできなかったことを休園で生じた時間を使って改めて確認する「園内ミニ研修会」を実施しました。様々な対応に追われて中々学ぶ暇が無い「基本のき」を学んで実践するため、「担任がすべき仕事」「園内の環境の管理の仕方」等のテーマで実施しています。

自園の保育のあり方を見直したり、 教師の保育力を高める取組（続き）

自園の教育理念・教育課程・指導計画等の再確認・改善を行ったり、計画的に教師の保育技術の研鑽を行ったり、職員
のチームビルディングを促進したりする。



在宅で自己研鑽をした内容を在宅勤務報告書にまとめ、法人内SNS（サイボウズ）で情報交換しています。

在宅勤務では、保育・動植物の栽培方法・マネジメント等の専門書の読書や手作り玩具の作成、他園の取り組みについてWEB上に掲載されているものの閲覧、昨年度の保育事例のまとめ等を行っています。



明海認定こども園

外国籍の保護者が多いため、外国語の習得に励んでいます。（英会話、YouTube、携帯アプリ）

にいほりこども園

自己研修の課題として、①保育教諭の言葉掛け、②のびのびと遊びや生活するための環境・援助③意欲的に仕事するための工夫④スタートカリキュラム⑤カリキュラムマネジメントについて自園の課題をと改善策を考察。⑥幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿について具体的な幼児の姿などに関する考察とレポート提出を実施しました。

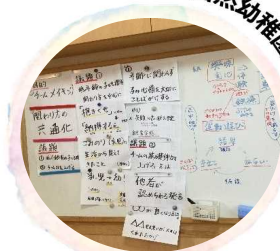
すみれ幼稚園

園内ICTの本格的な導入の前の練習期間としました。保護者への手紙やドキュメンテーションの配信等も行い、保護者との連携のとり方を変えるチャンスとなっています。また、戸外での遊ぶ時間を増やす必要性もあり、一斉保育からコーナー保育へと変えるチャンスと捉えて、保育形態や行事の在り方を見直し、変えていくいい機会となっています。

園内の環境の見直し・整備を行う

園庭環境の整備や危険箇所の洗い出し、絵本や教材の整理・充実など、普段はできないような園内環境の見直し・整備を行う。

自然幼稚園



出勤日に職員のチームビルディングの為の研修を行い、今年度の保育のねらいや教育課程の相談がしやすい関係づくりの場と時間を持ちました。KP（紙芝居プレゼンテーション）法を使い、流れを共有しながら、自分たちの思いを発言しやすいよう工夫しました。

向山幼稚園

園庭環境の整備、遊具の整理と表示の見直し、特別な支援を要する幼児への個別の表示作成など、保育環境を丁寧に見直すことで保育の質の向上に努めています。

千里第二幼稚園

後回しになりがちな場所の清掃や整理整頓、環境の整備などを行うことで、新たな素材や遊具の活用方法などに気付くことができた。また、畑の土を総入れ替えるなど大掛かりな環境の再構成ができました。

※上記事例の他にも、例えばこんな環境整備の事例が届いています！
不要品処分、季節に合わせた壁面製作、側溝の砂取り、園庭の水たまり箇所の埋め立て、草取り・剪定、絵本の修理と絵本部屋の整理・充実、教材庫の整理、おもちゃの消毒、危険箇所の確認・対策、遊具のさび落とし・塗り替え、園児が遊びに使いたくなる植物の植え付け

新型コロナウイルス感染症への対応のための幼稚園等の取組事例集 その他の取組

長野台幼稚園

就労と子どもの安全で悩む保護者への配慮として、保護者が勤務する事業所宛に協力依頼を依頼するお手紙を作成して、感染拡大防止のために仕事を休みやすい環境作りの支援をしています。また、小学校休業等対応助成金を活用しやすいよう、保育認定児の利用自粛要請をしていることも記載した休園証明書を発行しています。

常盤幼稚園

修了児と保護者の不安をサポートしたいと思い、「ご入学おめでとうございます。幼稚園はいつも応援しています！」と、入学を楽しみにできるようなメッセージを送りました。保護者からは多くの感謝の返事があり、修了後も子どもや保護者を支えていく幼稚園教育の役割の重要性や小学校へ繋ぐ責任を感じるなど学びの機会となりました。

川添幼稚園

例年はクラスで話し合って植え付ける夏野菜を決めますが今はそれができません。幼児と保護者が家庭で楽しく話し合い、登園再開後の活動の意欲化にもつながるよう、家庭で話し合って植え付け希望の野菜をメールに書いてもらいました。また、そうして決めた野菜を、感染予防対策を行いつつ家族に植え付けに来てもらいました。

日吉幼稚園

市の幼稚園園長会・保育園園長会のグループLINEを活用して各園の状況を共有し、新しい情報もすぐに共有できるようにしています。

静岡豊田幼稚園

母の日に園児が幼稚園でプレゼントを作ることができないが、お母さんへ感謝の気持ちを伝えることが大変重要だと考え、教師がプレゼントの土台を作って以前園児が作詞した歌の歌詞とともに郵送で送り、そこに園児がお母さんの顔を描いて完成させプレゼントできるようにしました。園児には「5月10日は、『母の日』といって、おかあさんに『ありがとう』を伝える日です。お母さんへのプレゼントを作ってお手伝いを先生が少しさせてもらいました。プレゼントを作って、笑顔と一緒に『ありがとう！』と言って渡してください」と書いたメッセージカードを添えました。幼児の心情を育むとともに、休業中、ストレスを抱えている母親への励ましにもつながると考えて実施しました。

京都市立幼稚園全国

エールプロジェクトと称し、自宅暮らし自分たちも頑張っているという自覚をもち、自分たちも認め励まし合うとともに、社会で人々のために働く人たちに感謝の気持ちと応援する気持ちをもち、今の現状を乗り越えようという取組をホームページを通して行っています。



<事業概要>

幼稚園（幼稚園型認定こども園を含む（以下、「幼稚園」という。））において、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、都道府県等が幼稚園に配布する子供用マスク、消毒液等の一括購入等が必要となる経費や、幼稚園の設置者による感染防止用の備品等購入、幼稚園の消毒に必要な経費を補助する。
※「教育支援体制整備事業費交付金」の事業の一部として実施

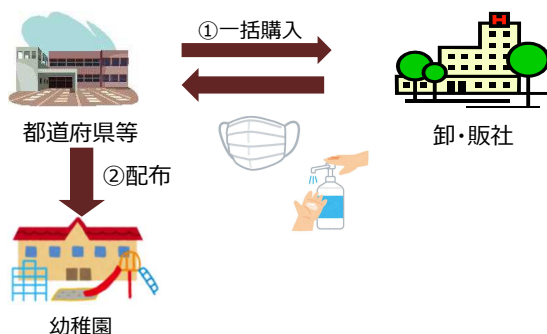
<実施主体> 都道府県、市町村（特別区を含む）、幼稚園の設置者

<対象施設> 幼稚園、幼稚園型認定こども園

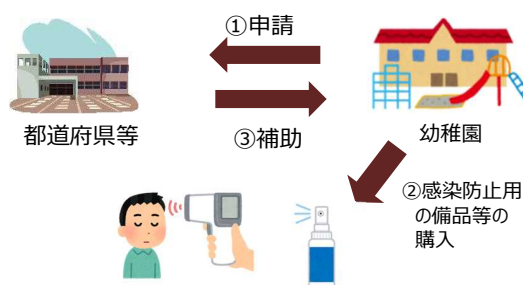
<補助基準額> 1施設あたり 500千円以内 ※令和元年度から実施

<補助率> 国 10/10

■ 都道府県等が一括購入するマスクや消毒液等の配布



■ 幼稚園の設置者感染防止用の備品等購入



118

私立幼稚園施設整備費補助金

令和2年度予算額 490百万円 + 臨時・特別の措置495百万円
(前年度予算額 525百万円 + 臨時・特別の措置769百万円)

事業概要

学校法人立幼稚園等の緊急の課題となっている耐震化のための耐震補強、耐震改築、非構造部材の耐震対策等に要する経費とともに、防犯対策、アスベスト対策、エコ改修等に要する経費の一部を補助することにより、幼稚園の環境整備を図る。

対象事業内容

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 1. 耐震補強工事 | … 耐震補強、非構造部材の耐震対策、防災機能強化 |
| 2. 防犯対策工事 | … 門・フェンス・防犯監視システム等の設置工事 |
| 3. 新築・増築・改築事業 | … 新築、増築、耐震改築、その他危険建物の改築 |
| 4. アスベスト等対策工事 | … 吹き付けアスベストの除去等 |
| 5. 屋外教育環境整備 | … アスレチック遊具、屋外ステージ等の整備 |
| 6. エコ改修事業 | … 太陽光発電の設置、省エネ型設備の設置 |

補助率

- | | |
|-------------------------------|----------|
| ○ 地震による倒壊等の危険性が高い(※)施設の耐震補強工事 | …【1/2以内】 |
| (※) 非木造：Is値0.3未満、木造：Iw値0.7未満 | |
| ○ 上記以外 | …【1/3以内】 |



事業概要

認定こども園の設置促進のため、認定こども園の施設整備・園舎の耐震化・防犯対策に要する経費の一部を補助するとともに、幼稚園教諭免許と保育士資格の併有促進、研修等の実施、園務改善のためのICT化等を支援し、子供を安心して育てることが出来る体制の整備を促進する。

認定こども園施設整備交付金

2,524百万円 + 臨時・特別の措置504百万円
 (2,290百万円 + 臨時・特別の措置1,135百万円)

教育支援体制整備事業交付金

963百万円 (1,081百万円)

認定こども園整備

- 認定こども園の施設整備に要する費用の一部を補助
 (新增改築、大規模改修等)
- ・幼保連携型認定こども園の教育を実施する部分
 (いわゆる幼稚園部分)
- ・幼稚園型認定こども園の幼稚園部分
- ・保育所型認定こども園の幼稚園機能部分
- 負担割合： 国1/2、市町村1/4、事業者1/4
- ※ 年度内に自治体の定める認定基準を満たす必要がある。
 既存の幼保連携型認定こども園の機能拡充も補助の対象。

幼稚園耐震化整備

- 認定こども園への移行を予定する私立幼稚園について、園舎の耐震指標等の状況に応じて実施する耐震化を支援。
 (改築、増改築等)
- ・私立幼稚園の耐震化経費
- 負担割合： 国1/2、事業者1/2
- ※ 既に認定こども園に移行した場合を含む。



防犯対策整備

- 幼稚園型認定こども園における門、フェンス、防犯カメラ等の設置に要する費用の一部を補助。
- ・幼稚園型認定こども園の防犯対策整備
- 負担割合： 国1/2、市町村1/4、事業者1/4
- ※ 幼保連携型認定こども園、保育所型認定こども園における防犯対策整備については、厚生労働省所管の保育所等整備交付金で対応。



保育教諭確保のための幼稚園教諭免許状取得支援事業

- 幼稚園教諭免許状と保育士資格の併有の促進を支援するため、幼稚園教諭免許状を取得等するための受講料、及び保育士資格を取得する幼稚園教諭の代替に伴う雇上費を補助。
- 負担割合： 国1/2、都道府県・指定都市・中核市1/2



幼児教育の質の向上のための緊急環境整備

- (1)施設における遊具・運動用具・教具・衛生用品等の整備費用を支援。
 (2)新型コロナウイルスの感染拡大防止を防止する観点から、保健衛生用品(マスク、消毒液等)の購入等に要する経費を支援
- 負担割合： (1)認定こども園の場合…国1/2、事業者1/2
 (2)国10/10

認定こども園等における教育の質の向上のための研修支援

- 認定こども園における質の向上に関する研修、幼稚園・保育所の教職員の合同研修等の実施費用等を支援。
- 負担割合： 国1/2、事業者1/2

認定こども園等への円滑な移行のための準備支援

- 認定こども園等に移行する幼稚園の準備に必要な経費を支援。
- 負担割合： 国1/2、事業者1/2



園務改善のためのICT化支援

- 認定こども園等における園務を改善するため、園のICT化を促進し、事務負担の大幅な軽減を図る。
- 負担割合： 国3/4、事業者1/4

